



KAKE NEWS

学校法人加計学園通信 第3号

発行元

学校法人加計学園広報室
岡山市北区理大町1-1
TEL 086-256-8609

ひとりひとりの若人が持つ
能力を最大限に引き出し
技術者として 社会人として
社会に貢献できる人材を養成する

岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・千葉科学大学・岡山理科大学専門学校・玉野総合医療専門学校・岡山理科大学附属高等学校・岡山理科大学附属中学校

加計 学園

女性職員対象に研修会

「企業人としての仕事観」テーマ マネージャー 飴善さん講演



本年度第3回加計学園職員研修会が8月7日、加計学園50周年記念館会議室（千葉科学大学はTV会議）で、「企業人としての仕事観」をテーマに開かれました。

今回の研修会は、加計学園在職の女性職員が対象。日本航空株客室品質企画部 客室教育・訓練室のアドバイザーグループ マネージャー、飴善晶子（あめぜん・しょうこ）さんを講師に、「トップフェッショナルとは：を考え続け」と題した講演を聴きました。飴善さんは、豊富な経験や実践、会社破綻を経た現在の仕事に対する思いや人生観など、具体例をもとに、女性職員としての等身大の生き方を披露。参加者にとって、私立学校に勤務する職員として、自らの仕事観・人生観を顧みる良い機会になりました。

講演後、参加者から「自分の中で何かが変わった。変わらなければならぬと思った」「感謝の心を持ち、謙虚にしておらず、さらに努力をしていきたい」といった感想や、講師の人格に感銘を受けたなど、講演を振り返っての意見が寄せられました。

常に向上心を持ち続けている講師

を実感した。

師がすばらしいと思った。キャリアアップをするためには、個人の

ただいたことに感謝。自分を客観的に見ることで、人間は成長できるのだということを再認識した。

アンケート回答から

「闘う相手は自分自身」「常に向上心を」

「あきらめない、焦らない、くさらない、闘う相手は自分自身」という言葉がすこく心に響いた。

努力が必要だと、改めて感じた。

日々の生活の中で、考えるだけでなく、行動に移すことの大切さ

▼お客様のことを一番に考え、自ら謙虚にしておらず、常に努力を怠らない姿勢は、異業種ではあるが、私たち社会人として共通して目指すところだと思った。

▼日々をただ何となく過ごすのではなく、「考える」「振り返る」ことが大切なんだな、と思った。

「あきらめない、焦らない、くさらない、闘う相手は自分自身」という言葉がすこく心に響いた。



岡山理科大学附属中学校

村上・上松ペア個人戦で優勝 全国中学校ソフトテニス

第44回全国中学校ソフトテニス大会（8月19日～21日・愛知県一宮市テニス場）で、本校の男子ソフトテニス部「村上智基・上松俊貴」ペアが個人戦で優勝しました。1回戦から全5試合で失セット1と圧倒的な強さを見せた快挙でした。この優勝で、全国中学校ソフトテニス大会の個人戦2連覇達成となりました。

決勝の相手は福島ペア。序盤から村上・上松のペースでゲームが進みました。前衛・上松のボレーが次々と決まり、後衛・村上の頭脳的なストロークが相手をほんろうしました。

二人は、「勝因は先手必勝でした」と今大会を振り返り、笑顔で位田校長へ優勝報告をしました。「今後も、JOC、国体と、大きな大会が続くので頑張ります」。次の大会に向かって決意を新たにしています。

千葉科学大学

看護学部棟(仮称)建築進む
専門科目の講義、演習 教育研究の場に

本学の看護学部棟(仮称)は、来年4月の開設を目指して現在、基礎工事を順次進めているところです。

同棟は、2014年4月に向けて設置認可申請中の看護学部の教育研究の場となるもの。看護学部生を対象とした専門科目の講義や、様々な演習が行われる予定です。同棟は、4階建て、延べ面積6、500平方メートル。最先端の設備が整う看護分野別に5つの実習室が完備されています。4階部分は災害時の避難所、1階は中央部

分が後方への避難通路となるなど、危機対策を考慮した建物となっています。

看護学部は、「人を助けたい」というヒューマンケアの理念と、安全・安心な健康生活の確保のための、危機管理意識の高い看護実践者を育成。既存の薬学部、危機管理学部の2学部との連携を図った教育に取り組みます。



看護学部棟(仮称)の完成予想図

岡山理科大学

「充実した学生生活を」
オープンキャンパス

開催

本年度2回目のオープンキャンパスが8月3日、4日の2日間、開催されました。

全体説明会では、両日、約500人収容の理大ホールが満席になり、多くの方に来ていただきました。8月3日はクリスタルコーラの歌唱、4日は軽音楽部の演奏の後、「TOUCH THE SCIENCE



岡山理科大学専門学校

奄美大島、加計呂麻島で海洋実習
マンブローブ域で動植物観察

アクアリウム学科1・2年生研究科生の40人と教員2人が6月30日〜7月4日の5日間、奄美大島、加計呂麻島での海洋実習に参加し



ました。

これまでは移植サンゴの調査を兼ねて、沖縄県の石垣島での実習でしたが、加計学園と鹿児島県・瀬戸内町が包括協定を結んだ縁もあり、今年は瀬戸内町(奄美大島と加計呂麻島)へ行くことになりました。

奄美大島ではマンブローブ域をカヌーで移動しながら、マンブローブ域特有の動植物の観察ができました。また、奄美大島と加計呂麻島に挟まれた大島海峡は波静かで、加計呂麻島でのダイビングやスノーケリングでの生物観察、採集、釣りなどをすることが出来ました。

亜熱帯と温帯が混在する多様な自然環境、沖縄と鹿児島島の文化などを満喫することが出来ました。

岡山天文博物館で開催の
「恐竜展」共催

浅口市の岡山天文博物館で今夏、「恐竜展―巨大隕石による恐竜の絶滅・鳥への進化―」(7月20日〜9月8日)が本学の共催



バタゴニクスの全身標本

で開かれました。岡山理科大学と岡山天文博物館は、2011年に協定を結んでいます。今回の企画展では、本学から、火星起源隕石や月起源隕石、さらに、2月にロシアに落下したチェリャビンスクの隕石など様々な隕石やアンモナイトなどの化石資料を出展しました。

林原自然科学博物館の協力のもと、始祖鳥、バタゴニクスⅡ写真Ⅱとプロトケラトプスの全身標本も展示されました。

開幕前の7月13日には、本学で博物館学芸員の資格取得を目指す学生が恐竜展に向けて設置作業を手伝いました。オープンングでは、本学の学生が司会進行役を務めました。

倉敷芸術科学大学

関戸健太さん 銀メダル獲得!

バトントワリング世界大会

「第7回WBTFインターナショナル」



岡山理科大学附属高等学校 通信制課程

田中君 全国高校定通制

陸上男子800mで準優勝

第48回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会が8月に行われ、陸上部の田中君が通信制課程では初の2位に輝きました。これまででも理科大学附属高校の柔道部・卓球部・陸上部は県予選を勝ち抜き、全国出場を果たしてきました。



ナルカップ」(8月7日〜11日、オランダ・アルメレ)に団体メンバーとして初出場した、生命科学部健康科学科1年の関戸健太さんが、見事、銀メダルを獲得しました。世界大会は16カ国から延べ864人が参加し、団体部門には41チームがエントリー。関戸さんのチームはドラキュラをテーマに、ジャンプや側転などを組み込んだアクロバティックな演技を披露し、高評価を得ました。

快挙を果たした関戸さんは受賞後、「初めての世界大会で緊張しましたが、いつも通りの演技ができ、観客の皆さんに喜んでもらえて良かったです。」

その中でも今年は、陸上部の田中君が8月12日〜14日(東京・国立競技場)での全国高校定時制通信制陸上競技大会の男子800mで準優勝の快挙です。国立競技場で開催という「最高の晴れ舞台」で持てる力を発揮してくれました。約80選手が出場した予選では、第5組に登場。見事1着でゴールし、予選全体の1位のタイムで通過しました。

県大会から調子を上げてきていた田中君は、体調万全で決勝戦に挑みました。全日製の協力の下、陸上競技部の部長と一緒に、毎日練習に励んできました。田中君は元々、短距離選手でしたが、「中距離の方が向いているのでは」と種目変更し、今回の快挙につながりました。

通信制への転入学や出場種目の変更という環境の変化が、個々の隠れた才能を花開かせたのではな

て良かった」と話していました。バトントワリングは音楽に合わせ、前転や側転などの演技を織り交ぜてバトンを操り、技の正確さや表現力を競うもの。団体競技は8人1組で演技します。

関戸さんが6歳から所属するクラブチーム「PL広島第3MBA」の系列クラブや、PL学園高校の男子選手らによる団体選抜チームは、世界的にもまれな男性だけのチーム。今年3月に大阪で開催された「第38回全日本バトントワリング選手権大会」の団体部門で2位となり、上位3組に与えられる世界大会への出場権を得ました。

いでしょうか。田中君の今後に期待です。

岡山理科大学附属高等学校

菅野君 全日本ジュニアテニス

男子シングルスで準優勝

大阪市西区で開かれた全日本ジュニアテニス選手権の男子シングルスで、菅野靖晃君(健康・スポーツコース3年)が見事、準Vを飾りました。



8月17日に靛テニスセンターで行われた決勝は、押せ押せムードでスタートしましたが、相手は海外ツアーに参戦する実力者。力が入りすぎて2セットを先取され、惜しくも準優勝となりました。

この大会は高校生だけでなく、クラブチームや海外でも活躍する選手が目撃される、テニスジュニア界の最高峰。菅野君は準決勝で逆転勝ちし、接戦をものにする「強さ」を発揮するなど、3年間の集大成の実力を見せてくれました。

岡山勢としての21年ぶりのチャンピオンは逃しましたが、菅野君は今大会の試合内容には満足した様子で「自分の持ち味の粘り強さが出た大会だった」と振り返っていました。

玉野総合医療専門学校

卓球部とサッカー部が

全国大会出場決定!

本校の卓球部とサッカー部が全国大会に出場することが決定しました!



卓球部は「岡山県専門学校交流スポーツ大会」(7月6日・岡山市浦安総合公園)で、男子、女子および教員の部で優勝。12月11、12日に駒沢オリンピック公園総合運動場・体育館で行われる第29回全国専門学校卓球選手権大会への出場権を獲得しました。

山本、田中▽女子▽今田、大橋)と卓球部顧問井村先生の活躍に期待がかかります!

サッカー部は「第23回全国専門学校サッカー選手権大会中国ブロック予選」(8月18日・岡山県総合グラウンド補助陸上競技場)で、広島工

業大学専門学校を5-0で破り優勝。中国ブロック地区代表校として10月7日から札幌市の札幌サッカーアミューズメントパークなどで行われる、本大会への出場権を獲得しました。

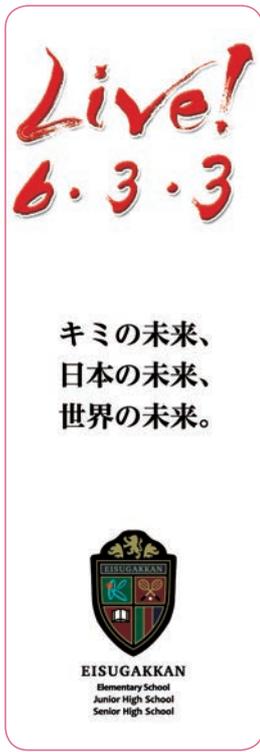
全国大会には7ブロック21チームが出場しますが、1枠しかない中国(四国)ブロックからは本校が出場。晴れ舞台でTAMASENサッカー部のチームワークを存分に発揮してくれることでしょう。

専門学校の大会とは言え、全国レベルは高く苦戦が予想されますが、レベルの違いを肌で感じ、必ずや一回り成長してくれることでしょう。そして、本来の目標である医療・福祉のスペシャリストの道をまい進してくれることを期待します。

広島加計学園 英数学館小・中・高等学校

「Live!6.3.3」ロゴ作成

広島加計学園では、「児童・生徒・保護者および地域社会から選ばれた学園をめざす」というビジョンを具現化するために、「グローバル



キミの未来、日本の未来、世界の未来。



EISUGAKKAN
Elementary School
Junior High School
Senior High School

ル教育への挑戦」を掲げて教育活動にあたっています。

その一環としてこの夏より、グローバル社会を強く生き抜くため

の学校教育と、音楽ライブで盛り上がるように元気で生き生きとした学校生活を、「Live!」という言葉で表現し、本学園をより身近に感じていただくためのコミュニケーションメッセージとして「Live!6.3.3」のロゴを作成しました。日本人としてのアイデンティティーを大切にしたいグローバル人材を、ローマ字と筆書きで表現しています。小中高6・3・3年の12年間を生き生きと過ごしてほしい、そんな願いが込められています。これからも「英数学館Live!」を発信していきますので、楽しみにしておいてください。

岡山理科大学附属高等学校

韓国・木洞高校

研修団が来校

海外姉妹校の木洞高校（韓国・ソウル）から来日研修団35名が7月26日に理大附属高校へ来校。武道見学や茶道にチャレンジ、本校生徒と交流を深めました。

武道の見学では、空手道部や少林寺拳法部、柔道部の演武を観戦。腹の底から出てくる「オウツ」という声に驚きながらも、真剣に見学していました。空手や少林寺の型を、凜とした姿で女子部員が行うと「わあ〜」と大きな拍手を送るなど、暑さの中にも清々しい部活動を堪能していました。

茶道では、お点前を体験。浴衣姿の生徒からお菓子を受け取った研修団は、慣れない楊枝で和菓子

を切り分けながら口に運び、お茶碗で抹茶を飲んでいききました。「あんなにお菓子はとても甘かった。お抹茶はまず色にビックリ。最初は苦かったが、とてもおいしくいただきました。」と初めての抹茶に感激していました。



吉備高原学園高等学校

「同袍祭（文化祭）」を10月26日（土）の午前9時から午後2時30分ごろまで、校内で開催します。

内容は、生徒作品の展示（書道部、美術部他）▽生徒作品の販売（陶芸デザインコース、クラフトデザインコース）▽演奏・演武・演劇（音楽部、サークル、古武道部、演劇部など）

カレー、フランクフルト、たこ焼きなどの模擬店も出店します。場所は校舎内、中庭芝生広場（芝絵のところ）、専門コース実習室

に盛り上がっていました。茶道部員は「色々な人と交流ができて楽しい。研修団にも楽しんでいただけたと思う」と、日本文化を通しての国際交流を喜んでいました。

伊原木理事長（岡山県知事）が来校し激励



吉備高原学園の理事長でもある伊原木隆太岡山県知事が9月10日、来校。授業の様子を視察した後、体育館で全校生徒に自らの経験をもとに「苦労した経験が自分を支える」と激励。この後、生徒会長が感謝の言葉を述べました。

などです。

同袍祭は、文字通り、地域の人たちとの交流の場ともなっています。ぜひおいでください。

お知らせ



昨年の同袍祭

岡山理科大学
〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1
(URL) <http://www.ous.ac.jp/>

岡山理科大学専門学校
〒700-0003 岡山県岡山市北区半田町8-3
(URL) <http://www.risen.ac.jp/>

岡山理科大学附属中学校
〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1
(URL) <http://www.kake.ac.jp/~info-j/>

倉敷芸術科学大学
〒712-8505 岡山県倉敷市連島町西之浦2640
(URL) <http://www.kusa.ac.jp/>

玉野総合医療専門学校
〒706-0002 岡山県玉野市築港1-1-20
(URL) <http://www.tamasen.ac.jp/>

英数学館小・中・高等学校
〒721-8502 広島県福山市引野町980-1
(URL) <http://www.eisu-ejs.ac.jp/>

千葉科学大学
〒288-0025 千葉県銚子市潮見町3
(URL) <http://www.cis.ac.jp/>

岡山理科大学附属高等学校
〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1
(URL) <http://www.ridaifu.net/>

吉備高原学園高等学校
〒709-2393 岡山県加賀郡吉備中央町上野2400
(URL) <http://www.kibikogengakuen.ed.jp/>